

保安監督者の選任又は解任の届出

1 保安監督者の選任又は解任の届出について

(1) 保安監督者の選任義務がある製造所等は次のとおりです（○は、必要であることを示します。）。

ア 貯蔵又は取り扱う危険物の種類、数量に関係なく保安監督者の選任が必要な製造所等

製造所等の区分	製造所	○
	屋外タンク貯蔵所	○
	給油取扱所	○
	移送取扱所	○
	一般取扱所（容器詰替等を除く）	○

イ 貯蔵又は取り扱う危険物の種類、数量により保安監督者の選任が必要な製造所等

危険物の種類	引火性の危険物 (第4類の危険物)				引火性以外の危険物 (第4類以外の危険物)	
	指定数量の 30倍以下		指定数量の 30倍を超えるもの		指定数量の 30倍以下	指定数量の 30倍を超えるもの
	40度以上 のみ	40度未満	40度以上 のみ	40度未満		
製造所等の 区分	屋内貯蔵所	○	○	○	○	○
	屋内タンク貯蔵所	○		○	○	○
	地下タンク貯蔵所	○		○	○	○
	簡易タンク貯蔵所	○		○	○	○
	屋外貯蔵所			○	○	○
	第一種販売取扱所	○			○	
	第二種販売取扱所	○		○	○	○
	容器詰替 ボイラー等消費の 一般取扱所	○	○	○	○	○

(2) 「危険物保安監督者を定める」とは、製造所等の所有者等と保安監督者になるべき方との間に意思の合致があり、保安監督者となるべき方が届出に係る製造所等において危険物取扱作業に関し、保安監督することが私法上確約される状態を指します。

(3) 届出の添付書類

ア 危険物取扱実務経験証明書

平成元年4月1日以前に乙種危険物取扱者免状の交付を受けた方は、受験資格として6箇月以上の実務経験が求められていたので、改めて証明書の添付を必要としません。

イ 取扱者免状の写し

免状の種類が甲種又は乙種で届出に係る製造所等の危険物を取り扱うことができる種類の免状であることを示すために添付が必要です。

(4) 届出に係る保安監督者が、他の製造所等の保安監督者又は取扱従事者を兼任しているときは、届出に係る製造所等の規模、位置等からみて、現実に危険物の取扱作業に関して保安の監督ができる範囲内にある必要があります。

このため、届出に係る製造所等の所在地、本人の職務上の地位、作業内容等を確認し、著しく兼任場所が離れていること、又は管理権限を有する方が異なることがないように、適切な保安監督者を選任してください。

(5) 解任届出の場合は、届出に係る製造所等の危険物の品名、数量又は指定数量の倍数の変更等があり、選任義務以外の製造所等となる場合を除き、保安監督者の選任を行う必要があります。

2 保安監督者選任・解任届出書の記載上の留意事項

保安監督者選任・解任届出書は、次に示す記載要領に留意し、記入してください。

様式第 20（第 48 条の 3 関係）

①

危険物保安監督者選任 解任届出書

京都市長 殿		元号〇〇年〇〇月〇〇日	
届出者		住所 ② 京都市〇区〇〇町〇〇番地〇 (電話 000-0000)	
氏名		株式会社〇〇 代表取締役 〇〇 〇〇	
設置者	住所	③ 京都市〇〇区〇〇町〇〇番地〇 電話 000-0000	
	氏名	〇〇株式会社 代表取締役 〇〇 〇〇	
製造所等の別		④ 取扱所	貯蔵所又は 取扱所の区分 給油取扱所
設置の許可年月日 及び許可番号		⑤ 元号〇〇年〇月〇日 京都市指令〇〇〇第〇〇号	
設置場所		⑥ 京都市〇〇区〇〇町〇〇番地〇	
区分		選任	解任
危険物保安監督者	氏名	〇〇 〇〇	
	危険物取扱者 免状の種類	⑦ 乙種 第4類	
	選任・解任日 年 月 日	⑧ 元号〇〇年〇月〇日	年 月 日
※ 受付欄		※ 備考	

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本工業規格A 4とすること。
 2 法人にあつては、その名称、代表者氏名及び主たる事務所の所在地を記入すること。
 3 ※印の欄は、記入しないこと。

- ① 届出書名称の選任・解任は、該当する区分以外を二重取消線で抹消するか、又は、該当する区分を○で囲むように記入してください。
- ② 届出者の住所及び氏名は、届出に係る製造所等の設置者の住所及び氏名又は危険物製造所等管理者選任・解任届出書により、選任されている管理者の住所及び氏名としてください。

なお、届出者が設置者又は管理者と異なる場合は、委任状等を添付してください。

- ③ 許可申請書に記載されている設置者と同一の方としてください。
- ④ 製造所等の別は、製造所は「製造所」、○○貯蔵所は「貯蔵所」、○○取扱所は「取扱所」と記入してください。

貯蔵所又は取扱所の区分は、危政令第2条又は危政令第3条に規定する区分により、「屋内」、「給油」等と記入してください（「屋内貯蔵所」、「給油取扱所」等と記入することもできます。）。

- ⑤ 設置の許可年月日及び許可番号を記入してください。
- ⑥ 許可申請書に記載されている設置場所を記入してください。
- ⑦ 実務経験証明書及び免状の写しを添付してください。免状の写しを添付しない場合は、免状の種類以外に交付年月日、番号、都道府県名を記入してください。
- ⑧ 選任又は解任した年月日を記入してください。

3 危険物取扱実務経験証明書

(1) 次の様式により提出してください。

(2) 6月以上の実務経験とは、次によります。

ア 危険物製造所等における実務経験であること。

イ 危険物取扱者免状の交付を受けた後における実務経験に限られるものではありません。

ウ 証明者は、事業所の長等、証明書を発行する事業所における業務を統轄又は管理する立場の方であること。

様式第20の2（第48条の3関係）

実 務 経 験 証 明 書

氏 名	① ○○ ○○ (元号○○年 ○月 ○○日生)			
取り扱った危険物	類 別	② 第 4 類	品 名	ガソリン、灯油、軽油
取り扱った期間	元号○○年○月 ○○日 から 元号○○年 ○月 ○○日まで ③ (○年 ○○月)			
製造所等の別 (該当するものを ○で囲むこと)	④ 製造所 ・ 貯蔵所 ・ 取扱所			
上記のとおり相違ないことを証明します。				
証明年月日	⑤ 元号○○年 ○○月 ○○日			
事業所名	⑥ 株式会社○○ ○○給油所			
所在地	⑦ 京都市○○区○○町○○番地○			
証明者	職 名	⑧ 代表取締役社長		
	氏 名	○○ ○○		
	電話番号	075 (○○○) ○○○○		

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

- ① 危険物取扱実務を経験した方の氏名を記入してください。
- ② 危険物取扱実務の中で、使用していた危険物の類及び品名を記入してください。
- ③ 危険物を取り扱った期間を記入してください。括弧内は、期間の年月を記入してください。
- ④ 製造所等の別を記入してください。
- ⑤ 危険物取扱実務を経験した製造所等の設置の許可年月日及び許可番号を記入してください。
- ⑥ 危険物取扱実務を経験した設置場所を記入してください。
- ⑦ 上段の内容について、証明する年月日を記入してください。
- ⑧ 上段の内容について、証明する事業所名を記入してください。
- ⑨ ⑧の事業所の所在地を記入してください。
- ⑩ 証明する事業所の設置者の職名を記入してください。
- ⑪ 証明する方の氏名、連絡先を記入してください。